

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2016年10月25日[当初、2021年6月11日]まで (2012年7月12日設定)	
運用方針	主として円建ての外国投資信託であるピムコバミューダ エマージング マーケット ハイイールド コーポレート ボンド ファンド A - クラス J (JPY) の投資信託証券への投資を通じて、米ドル建ての新興国のハイイールド債券等に実質的な投資を行い、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。なお、証券投資信託であるマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券への投資も行います。円建ての外国投資信託への投資は高位を維持することを基本とします。実質的な組入外貨建資産については、原則として投資する外国投資信託において為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。投資信託証券への運用の指図に関する権限は、ピムコジャパンリミテッドに委託します。	
主要運用対象	新興国 ハイイールド 債券ファンド (為替ヘッジあり)	ピムコ バミューダ エマージング マーケット ハイイールド コーポレート ボンド ファンド A - クラス J (JPY) およびマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券を主要投資対象とします。
	ピムコ バミューダ エマージング マーケット ハイイールド コーポレート ボンド ファンド A - クラス J (JPY)	ピムコ バミューダ エマージング マーケット ハイイールド コーポレート ボンド ファンド (M) への投資を通じて、米ドル建ての新興国のハイイールド債券およびその派生商品等を主要投資対象とします。
	マネー・マーケット・マザーファンド	わが国の公社債等を主要投資対象とします。外貨建資産への投資は行いません。
主な組入制限	投資信託証券への投資割合に制限を設けません。外貨建資産への直接投資は行いません。	
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。なお、第2計算期末までの間は、収益の分配は行いません。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。

償還報告書 (全体版)

[繰上償還]

新興国ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジあり)

愛称：グローイング・スピリッツ



第48期 (決算日：2016年7月13日)

第49期 (決算日：2016年8月15日)

第50期 (決算日：2016年9月13日)

第51期 (決算日：2016年10月13日)

信託終了日：2016年10月25日



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「新興国ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジあり)」は、約款の規定に基づき、先般ご案内申し上げました予定通り、10月25日に繰り上げて償還させていただきました。ここに謹んで運用経過と償還内容をご報告申し上げます。
今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目 12 番 1 号
URL:<http://www.am.mufg.jp/>

本資料の記載内容に関するお問い合わせ先

お客さま専用フリーダイヤル TEL. 0120-151034

(9:00~17:00、土・日・祝日・12月31日~1月3日を除く)

お客さまのお取引内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。

◆目次

新興国ハイイールド債券ファンド（為替ヘッジあり）のご報告

◇最近29期の運用実績	1
◇当作成期中の基準価額と市況等の推移	2
◇運用経過	3
◇1万口当たりの費用明細	10
◇売買及び取引の状況	11
◇利害関係人との取引状況等	11
◇自社による当ファンドの設定・解約状況	11
◇組入資産の明細	11
◇投資信託財産の構成	12
◇資産、負債、元本及び基準（償還）価額の状況	13
◇損益の状況	14
◇投資信託財産運用総括表	15
◇分配金のお知らせ	17
◇償還金のお知らせ	17
◇お知らせ	17

投資対象ファンドのご報告

◇ピムコ バミューダ エマージング マーケット ハイ イールド コーポレート ボンド ファンド A - クラス J (JPY)	18
◇マネー・マーケット・マザーファンド	20

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近29期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	標準価額		債組入比率	債券先物比率	投資信託組入比率	純資産総額
		税金	期騰落				
	円 銭	円	%	%	%	%	百万円
24期(2014年7月14日)	10,060	50	0.7	0.1	—	99.0	24
25期(2014年8月13日)	9,798	50	△2.1	0.1	—	99.1	19
26期(2014年9月16日)	9,856	50	1.1	0.4	—	99.4	7
27期(2014年10月14日)	9,679	50	△1.3	0.2	—	99.4	6
28期(2014年11月13日)	9,604	50	△0.3	0.2	—	99.0	6
29期(2014年12月15日)	8,791	50	△7.9	0.2	—	99.4	5
30期(2015年1月13日)	8,628	50	△1.3	0.1	—	99.0	6
31期(2015年2月13日)	8,515	50	△0.7	0.2	—	99.0	5
32期(2015年3月13日)	8,669	50	2.4	0.3	—	98.9	3
33期(2015年4月13日)	8,812	50	2.2	0.0	—	98.7	3
34期(2015年5月13日)	8,945	50	2.1	0.0	—	98.4	3
35期(2015年6月15日)	8,900	50	0.1	0.0	—	98.8	3
36期(2015年7月13日)	8,785	50	△0.7	0.0	—	98.5	3
37期(2015年8月13日)	8,478	50	△2.9	0.0	—	98.8	3
38期(2015年9月14日)	8,170	50	△3.0	0.0	—	99.2	3
39期(2015年10月13日)	8,091	50	△0.4	0.0	—	98.7	3
40期(2015年11月13日)	8,219	50	2.2	0.0	—	99.4	3
41期(2015年12月14日)	7,862	50	△3.7	0.0	—	99.0	3
42期(2016年1月13日)	7,727	50	△1.1	0.0	—	99.2	3
43期(2016年2月15日)	7,534	50	△1.9	0.0	—	98.4	3
44期(2016年3月14日)	7,919	50	5.8	0.0	—	98.4	3
45期(2016年4月13日)	8,040	50	2.2	0.0	—	98.3	3
46期(2016年5月13日)	8,136	50	1.8	0.0	—	98.9	3
47期(2016年6月13日)	8,191	50	1.3	0.0	—	99.1	3
48期(2016年7月13日)	8,311	50	2.1	0.0	—	98.8	3
49期(2016年8月15日)	8,388	50	1.5	0.0	—	100.0	3
50期(2016年9月13日)	8,380	50	0.5	0.0	—	99.0	3
51期(2016年10月13日)	8,402	50	0.9	0.0	—	99.3	2
(償還時)	(償還価額)						
52期(2016年10月25日)	8,403.43	—	0.0	—	—	—	1

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 新興国ハイイールド債券ファンド（為替ヘッジあり）は、米ドル建ての新興国のハイイールド債券等に実質的な投資を行うとともに、原則として投資する外国投資信託において為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減をはかることで、信託財産の成長と収益の確保をめざすことを目標としておりますが、特定の指数を上回るまたは運動をめざした運用を行っていないため、また、変動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準	価 額		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率
			騰 落 率	率			
第48期	(期首)	円 銭		%	%	%	%
	2016年6月13日	8,191	—	0.0	—	99.1	
	6月末	8,210	0.2	0.0	—	98.7	
第49期	(期末)						
	2016年7月13日	8,311	—	0.0	—	98.8	
	7月末	8,360	0.6	0.0	—	98.8	
第50期	(期末)						
	2016年8月15日	8,438	1.5	0.0	—	100.0	
	(期首)						
第51期	2016年8月15日	8,388	—	0.0	—	100.0	
	8月末	8,448	0.7	0.0	—	97.6	
	(期末)						
第52期	2016年9月13日	8,430	0.5	0.0	—	99.0	
	(期首)						
	2016年9月13日	8,380	—	0.0	—	99.0	
第53期	9月末	8,417	0.4	0.0	—	98.8	
	(期末)						
	2016年10月13日	8,452	0.9	0.0	—	99.3	
第54期	(期首)						
	2016年10月13日	8,402	—	0.0	—	99.3	
第55期	(償還時)	(償還価額)					
	2016年10月25日	8,403.43	0.0	—	—	—	

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み合わせるので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

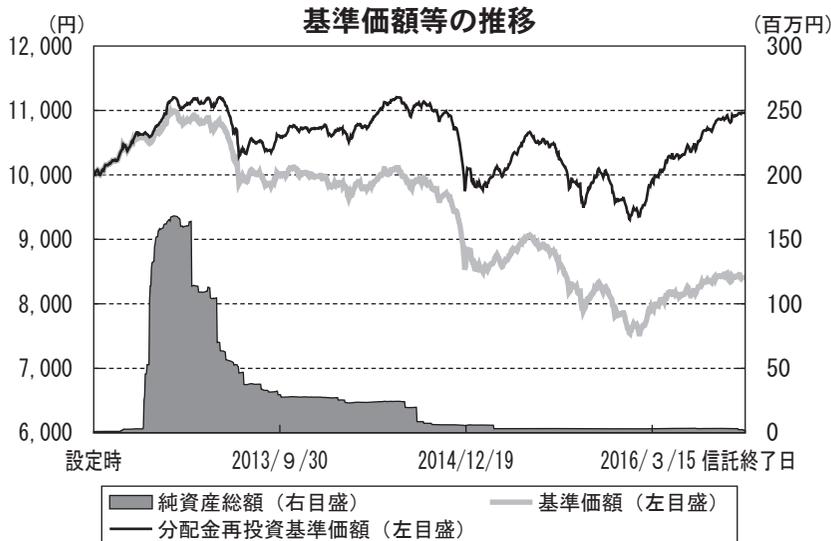
運用経過

設定来の基準価額等の推移について

（第1期～第52期：2012/7/12～2016/10/25）

基準価額の動き

償還価額は設定時に比べ9.6%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。



第1期首：10,000円
 第52期末：8,403.43円
 （既払分配金 2,450円）
 騰落率：9.6%
 （分配金再投資ベース）

- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるため、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の主な変動要因

上昇要因

債券利子収入を享受したことに加え、新興国高利回り社債市況が上昇（利回りは低下）したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。

投資環境について

（第1期～第52期：2012/7/12～2016/10/25）

債券市況の推移
（設定時を100として指数化）



（注）現地日付ベースで記載しております。

（注）J P モルガン C E M B I ブロード・ノン・インベストメント・グレードとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している米ドル建ての新興国社債（非投資適格）の代表的な指数です。

◎債券市況

- ・設定時から2013年5月上旬にかけては、欧米の金融緩和策や米国景気の回復期待などを背景に新興国高利回り社債市況は上昇しました。
- ・5月上旬から2016年1月中旬にかけては、米国において量的緩和策縮小や利上げなどを含む金融引き締め方向への政策転換に対する懸念が高まったこと、2014年後半から原油価格が急落したことなどを背景に市場心理が悪化する要因が見られ、新興国高利回り社債市況は値動きの荒い展開となりました。
- ・2016年1月中旬から信託終了日にかけては、原油価格の回復基調が続いたことなどから市場心理が改善し、新興国高利回り社債市況は上昇しました。

◎国内短期金融市場

- ・設定時から2013年4月までは、日銀はコール・レート（無担保・翌日物）を0～0.1%前後で推移するように金融市場調整を行いました。
- ・2013年4月から2016年1月までは、日銀は「量的・質的金融緩和」に基づきマネタリーベースの増加を操作目標として、金融市場調整を行いました。途中、2014年10月には、「量的・質的金融緩和」の拡大を行いました。また、2015年12月には「量的・質的金融緩和」を補完するための措置を導入しました。
- ・2016年1月の金融政策決定会合で日銀は「マイナス金利付き量的・質的金融緩和」の導入を決定し、-0.1%金利の適用は2月16日からとしました。
- ・2016年9月の金融政策決定会合で日銀は「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」の導入を決定し、金融市場調整の操作目標を、マネタリーベースの増加から長短金利の操作に変更しました。
- ・コール・レート（無担保・翌日物）は、設定時から2016年2月中旬にかけて概ね0.1%弱近辺で安定的に推移しました。マイナス金利適用開始日である2月16日以降は、-0.1%にさや寄せする形でプラス圏から段階的に低下し、10月25日のコール・レートは-0.041%となりました。

当該投資信託のポートフォリオについて

＜新興国ハイイールド債券ファンド（為替ヘッジあり）＞

- ・ピムコ社の運用する円建ての外国投資信託への投資を通じて、米ドル建ての新興国の高利回り社債を実質的な主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざしました。また、マネー・マーケット・マザーファンド投資信託証券を一部組み入れた運用を行いました。

＜第1作成期（第1期～第5期：設定時～2012年12月13日）＞

- ・基準価額は設定時に比べ8.2%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

＜第2作成期（第6期～第11期：2012年12月14日～2013年6月13日）＞

- ・基準価額は当作成期首に比べ1.4%（分配金再投資ベース）の下落となりました。

＜第3作成期（第12期～第17期：2013年6月14日～2013年12月13日）＞

- ・基準価額は当作成期首に比べ0.5%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

＜第4作成期（第18期～第23期：2013年12月14日～2014年6月13日）＞

- ・基準価額は当作成期首に比べ3.7%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

＜第5作成期（第24期～第29期：2014年6月14日～2014年12月15日）＞

- ・基準価額は当作成期首に比べ9.6%（分配金再投資ベース）の下落となりました。

＜第6作成期（第30期～第35期：2014年12月16日～2015年6月15日）＞

- ・基準価額は当作成期首に比べ4.8%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

＜第7作成期（第36期～第41期：2015年6月16日～2015年12月14日）＞

- ・基準価額は当作成期首に比べ8.4%（分配金再投資ベース）の下落となりました。

＜第8作成期（第42期～第47期：2015年12月15日～2016年6月13日）＞

- ・基準価額は当作成期首に比べ8.2%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

＜第9作成期（第48期～第52期：2016年6月14日～信託終了日）＞

- ・償還価額は当作成期首に比べ5.1%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。
- ・繰上償還に向け2016年10月17日にピムコ バミューダ エマージング マーケット ハイイールド コーポレート ボンド ファンド A - クラス J (JPY) の組入比率をゼロにしました。また、マネー・マーケット・マザーファンド投資信託証券を一部組み入れた運用を行いました。また、2016年10月18日に組入比率をゼロにしました。

<ピムコ バミューダ エマージング マーケット ハイ イールド コーポレート ボ
ンド ファンド A - クラス J (JPY) >

<第1作成期（第1期～第5期：設定時～2012年12月13日）>

- ・基準価額は設定時に比べ9.2%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。
- ・新興国高利回り社債市況が上昇したことや債券利子収入を享受したことなどがプラスとなりました。
- ・保有外貨建て資産に対し、米ドル売り、円買いの為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。

<第2作成期（第6期～第11期：2012年12月14日～2013年6月13日）>

- ・基準価額は当作成期首に比べ0.5%（分配金再投資ベース）の下落となりました。
- ・新興国高利回り社債市況が概ね横ばいとなる中、債券利子収入を享受したことなどはプラスとなったものの、為替ヘッジ等のコストなどがマイナスとなりました。
- ・保有外貨建て資産に対し、米ドル売り、円買いの為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。

<第3作成期（第12期～第17期：2013年6月14日～2013年12月13日）>

- ・基準価額は当作成期首に比べ1.4%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。
- ・新興国高利回り社債市況が上昇したことや債券利子収入を享受したことなどがプラスとなりました。
- ・保有外貨建て資産に対し、米ドル売り、円買いの為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。

<第4作成期（第18期～第23期：2013年12月14日～2014年6月13日）>

- ・基準価額は当作成期首に比べ4.7%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。
- ・新興国高利回り社債市況が上昇したことや債券利子収入を享受したことなどがプラスとなりました。
- ・保有外貨建て資産に対し、米ドル売り、円買いの為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。

<第5作成期（第24期～第29期：2014年6月14日～2014年12月15日）>

- ・基準価額は当作成期首に比べ8.9%（分配金再投資ベース）の下落となりました。
- ・債券利子収入を享受したことなどはプラスとなったものの、新興国高利回り社債市況が下落したことなどがマイナスとなりました。
- ・保有外貨建て資産に対し、米ドル売り、円買いの為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。

<第6作成期（第30期～第35期：2014年12月16日～2015年6月15日）>

- ・基準価額は当作成期首に比べ5.8%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。
- ・新興国高利回り社債市況が上昇したことや債券利子収入を享受したことなどがプラスとなりました。
- ・保有外貨建て資産に対し、米ドル売り、円買いの為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。

<第7作成期（第36期～第41期：2015年6月16日～2015年12月14日）>

- ・基準価額は当作成期首に比べ7.6%（分配金再投資ベース）の下落となりました。
- ・債券利子収入を享受したことなどはプラスとなったものの、新興国高利回り社債市況が下落したことなどがマイナスとなりました。
- ・保有外貨建て資産に対し、米ドル売り、円買いの為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。

<第8作成期（第42期～第47期：2015年12月15日～2016年6月13日）>

- ・基準価額は当作成期首に比べ9.4%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。
- ・新興国高利回り社債市況が上昇したことや債券利子収入を享受したことなどがプラスとなりました。
- ・保有外貨建て資産に対し、米ドル売り、円買いの為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。

<第9作成期（第48期～第52期：2016年6月14日～信託終了日）>

- ・基準価額は当作成期首に比べ5.7%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。
- ・新興国高利回り社債市況が上昇したことや債券利子収入を享受したことなどがプラスとなりました。
- ・保有外貨建て資産に対し、米ドル売り、円買いの為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。

<マネー・マーケット・マザーファンド>

<第1作成期（第1期～第5期：設定時～2012年12月13日）>

- ・基準価額は設定時に比べ0.04%の上昇となりました。
- ・コール・ローン等短期金融商品を活用しつつ、残存期間の短い国庫短期証券を組み入れ、利子等収益の確保を図りました。

<第2作成期（第6期～第11期：2012年12月14日～2013年6月13日）>

- ・基準価額は当作成期首に比べ0.04%の上昇となりました。
- ・コール・ローン等短期金融商品を活用しつつ、残存期間の短い国庫短期証券を組み入れ、利子等収益の確保を図りました。

<第3作成期（第12期～第17期：2013年6月14日～2013年12月13日）>

- ・基準価額は当作成期首に比べ0.04%の上昇となりました。
- ・コール・ローン等短期金融商品を活用しつつ、残存期間の短い国庫短期証券を組み入れ、利子等収益の確保を図りました。

<第4作成期（第18期～第23期：2013年12月14日～2014年6月13日）>

- ・基準価額は当作成期首に比べ0.03%の上昇となりました。
- ・コール・ローン等短期金融商品を活用しつつ、残存期間の短い国庫短期証券を組み入れ、利子等収益の確保を図りました。

<第5作成期（第24期～第29期：2014年6月14日～2014年12月15日）>

- ・基準価額は当作成期首に比べ0.02%の上昇となりました。
- ・コール・ローン等短期金融商品を活用しつつ、残存期間の短い国債を中心に組み入れ、利子等収益の確保を図りました。

<第6作成期（第30期～第35期：2014年12月16日～2015年6月15日）>

- ・基準価額は当作成期首に比べ横ばいとなりました。
- ・コール・ローン等短期金融商品を活用しつつ、残存期間の短い国債を中心に組み入れ、利子等収益の確保を図りました。

<第7作成期（第36期～第41期：2015年6月16日～2015年12月14日）>

- ・基準価額は当作成期首に比べ横ばいとなりました。
- ・コール・ローン等短期金融商品を活用しつつ、残存期間の短い国債を中心に組み入れ、利子等収益の確保を図りました。

<第8作成期（第42期～第47期：2015年12月15日～2016年6月13日）>

- ・基準価額は当作成期首に比べ横ばいとなりました。
- ・コール・ローン等短期金融商品を活用しつつ、残存期間の短い国債や社債などを組み入れ、利子等収益の確保を図りました。

<第9作成期（第48期～第52期：2016年6月14日～信託終了日）>

- ・基準価額は当作成期首に比べ0.01%の上昇となりました。
- ・コール・ローン等短期金融商品を活用しつつ、残存期間の短い国債や社債などを組み入れ、利子等収益の確保を図りました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・新興国ハイイールド債券ファンド（為替ヘッジあり）は、米ドル建ての新興国のハイイールド債券等を実質的な投資を行うとともに、原則として投資する外国投資信託において為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減をはかることで、信託財産の成長と収益の確保をめざすことを目標としておりますが、特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。
- ・従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、第3期から第51期までは50円の分配とさせていただきます。なお、信託約款の規定に従い第2期までの収益分配は行っていません。信託期間中、累計で2,450円の分配を行わせていただきました。

【分配原資の内訳】

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第48期	第49期	第50期	第51期
	2016年6月14日～ 2016年7月13日	2016年7月14日～ 2016年8月15日	2016年8月16日～ 2016年9月13日	2016年9月14日～ 2016年10月13日
当期分配金	50	50	50	50
（対基準価額比率）	0.598%	0.593%	0.593%	0.592%
当期の収益	50	50	45	47
当期の収益以外	—	—	4	2
翌期繰越分配対象額	1,807	1,810	1,806	1,803

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

償還価額

<新興国ハイイールド債券ファンド（為替ヘッジあり）>

償還価額は8,403円43銭となりました。

信託期間中はご愛顧を賜り、誠にありがとうございました。

○ 1万口当たりの費用明細

（2016年6月14日～2016年10月25日）

項 目	第48期～第52期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円	%	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率× （作成期中の日数÷年間日数）
（ 投 信 会 社 ）	(34)	(0.409)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（ 販 売 会 社 ）	(19)	(0.232)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(1)	(0.016)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	0	0.000	(b) その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.000)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	55	0.657	
作成期中の平均基準価額は、8,358円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2016年6月14日～2016年10月25日)

投資信託証券

銘柄		第48期～第52期			
		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	ビムコ パミュダ エマージング マーケット ハイ イールド コーポレート ボンド ファンド A - クラス J (JPY)	千口 0.0264	千円 197	千口 0.4899	千円 3,704

(注) 金額は受渡代金。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄		第48期～第52期			
		設定		解約	
		口数	金額	口数	金額
	マネー・マーケット・マザーファンド	千口 -	千円 -	千口 1	千円 1

○利害関係人との取引状況等

(2016年6月14日～2016年10月25日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

作成期首残高(元本)	当作成期設定元本	当作成期解約元本	作成期末残高(元本)	取引の理由
百万円 1	百万円 -	百万円 -	百万円 1	当初設定時における取得

○組入資産の明細

(2016年10月25日現在)

信託終了日現在、有価証券等の組入れはございません。

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘	柄	第47期末	
		口	数
ビムコ バミューダ エマージング マーケット ハイ イールド コーポレート ボンド ファンド A - クラス J (JPY)			千口 0.4634
合	計		0.4634

親投資信託残高

銘	柄	第47期末	
		口	数
マネー・マーケット・マザーファンド			千口 1

○投資信託財産の構成

(2016年10月25日現在)

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 1,672	% 100.0
投資信託財産総額	1,672	100.0

○資産、負債、元本及び基準（償還）価額の状況

項 目	第48期末	第49期末	第50期末	第51期末	償 還 時
	2016年7月13日現在	2016年8月15日現在	2016年9月13日現在	2016年10月13日現在	2016年10月25日現在
	円	円	円	円	円
(A) 資産	3,330,338	3,355,239	3,319,536	2,459,025	1,672,458
コール・ローン等	74,533	43,255	35,944	34,960	1,672,458
投資信託受益証券(評価額)	3,254,718	3,310,897	3,262,505	2,422,978	—
マネー・マーケット・マザーファンド(評価額)	1,087	1,087	1,087	1,087	—
未収入金	—	—	20,000	—	—
(B) 負債	34,932	45,252	24,570	19,191	1,324
未払金	10,000	20,000	—	—	—
未払収益分配金	19,826	19,729	19,660	14,518	—
未払信託報酬	5,106	5,522	4,910	4,672	1,322
未払利息	—	—	—	—	2
その他未払費用	—	1	—	1	—
(C) 純資産総額(A-B)	3,295,406	3,309,987	3,294,966	2,439,834	1,671,134
元本	3,965,300	3,945,871	3,932,050	2,903,788	1,988,634
次期繰越損益金	△ 669,894	△ 635,884	△ 637,084	△ 463,954	—
償還差損金	—	—	—	—	△ 317,500
(D) 受益権総口数	3,965,300口	3,945,871口	3,932,050口	2,903,788口	1,988,634口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,311円	8,388円	8,380円	8,402円	—
1万口当たり償還価額(C/D)	—	—	—	—	8,403円43銭

○損益の状況

項 目	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期
	2016年6月14日～ 2016年7月13日	2016年7月14日～ 2016年8月15日	2016年8月16日～ 2016年9月13日	2016年9月14日～ 2016年10月13日	2016年10月14日～ 2016年10月25日
	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	24,558	23,328	22,901	16,848	△ 18
受取配当金	24,559	23,328	22,901	16,848	—
支払利息	△ 1	—	—	—	△ 18
(B) 有価証券売買損益	47,643	32,517	△ 2,008	8,865	1,573
売買益	47,906	32,656	631	13,517	1,573
売買損	△ 263	△ 139	△ 2,639	△ 4,652	—
(C) 信託報酬等	△ 5,106	△ 5,523	△ 4,910	△ 4,673	△ 1,322
(D) 当期繰越損益 (A+B+C)	67,095	50,322	15,983	21,040	233
(E) 前期繰越損益金	△741,372	△687,117	△632,954	△469,911	△317,181
(F) 追加信託差損益金	24,209	20,640	△ 453	△ 565	△ 552
(配当等相当額)	(424,719)	(424,201)	(432,171)	(319,250)	(218,707)
(売買損益相当額)	(△400,510)	(△403,561)	(△432,624)	(△319,815)	(△219,259)
(G) 計(D+E+F)	△650,068	△616,155	△617,424	△449,436	—
(H) 収益分配金	△ 19,826	△ 19,729	△ 19,660	△ 14,518	—
次期繰越損益金(G+H)	△669,894	△635,884	△637,084	△463,954	—
償還差損益(D+E+F+H)	—	—	—	—	△317,500
追加信託差損益金	24,209	20,640	△ 453	△ 565	—
(配当等相当額)	(424,719)	(424,201)	(432,171)	(319,250)	(—)
(売買損益相当額)	(△400,510)	(△403,561)	(△432,624)	(△319,815)	(—)
分配準備積立金	291,909	290,263	278,174	204,593	—
繰越損益金	△986,012	△946,787	△914,805	△667,982	—

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

- ①作成期首（前作成期末）元本額 4,203,226円
 作成期中追加設定元本額 248,507円
 作成期中一部解約元本額 2,463,099円
 また、1口当たり純資産額は、作成期末0.840343円です。

②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は317,500円です。

③分配金の計算過程

項 目	2016年6月14日～ 2016年7月13日	2016年7月14日～ 2016年8月15日	2016年8月16日～ 2016年9月13日	2016年9月14日～ 2016年10月13日
費用控除後の配当等収益額	22,821円	21,021円	17,991円	13,786円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	—円	—円	—円	—円
収益調整金額	424,719円	424,201円	432,171円	319,250円
分配準備積立金額	288,914円	288,971円	279,843円	205,325円
当ファンドの分配対象収益額	736,454円	734,193円	730,005円	538,361円
1万口当たり収益分配対象額	1,857円	1,860円	1,856円	1,853円
1万口当たり分配金額	50円	50円	50円	50円
収益分配金金額	19,826円	19,729円	19,660円	14,518円

④信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、当ファンドと新興国ハイイールド債券ファンド（為替ヘッジなし）の純資産総額を合計した額に対し年10,000分の72.5以内の率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。

○投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2012年7月12日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2016年10月25日		資産総額	1,672,458円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	1,324円
				純資産総額	1,671,134円
受益権口数	1,000,000口	1,988,634口	988,634口	受益権口数	1,988,634口
元本額	1,000,000円	1,988,634円	988,634円	1万円当たり償還金	8,403円43銭
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万円当たり分配金	
				金額	分配率
第1期	1,061,152円	1,076,977円	10,149円	0円	0.0%
第2期	1,621,152	1,684,139	10,389	0	0.0
第3期	2,870,669	3,020,444	10,522	50	0.5
第4期	50,193,357	52,855,723	10,530	50	0.5
第5期	147,826,369	157,657,251	10,665	50	0.5
第6期	152,745,631	167,176,281	10,945	50	0.5
第7期	147,859,017	159,474,299	10,786	50	0.5
第8期	104,585,168	113,740,823	10,875	50	0.5
第9期	103,784,452	112,365,376	10,827	50	0.5
第10期	64,761,911	69,914,749	10,796	50	0.5
第11期	51,363,692	52,532,157	10,227	50	0.5
第12期	37,697,927	37,414,007	9,925	50	0.5
第13期	37,574,062	37,580,188	10,002	50	0.5
第14期	32,100,644	31,727,907	9,884	50	0.5
第15期	27,636,703	27,596,869	9,986	50	0.5
第16期	27,636,897	27,599,834	9,987	50	0.5
第17期	27,697,587	27,622,948	9,973	50	0.5
第18期	27,718,780	27,553,270	9,940	50	0.5
第19期	27,583,718	27,144,967	9,841	50	0.5
第20期	23,924,480	23,145,097	9,674	50	0.5
第21期	24,010,274	23,614,766	9,835	50	0.5
第22期	24,094,987	23,683,375	9,829	50	0.5
第23期	24,178,814	24,262,964	10,035	50	0.5
第24期	24,150,163	24,296,036	10,060	50	0.5
第25期	19,878,133	19,476,413	9,798	50	0.5
第26期	7,432,317	7,325,097	9,856	50	0.5
第27期	6,427,011	6,221,014	9,679	50	0.5
第28期	6,445,924	6,190,588	9,604	50	0.5
第29期	6,549,655	5,757,548	8,791	50	0.5
第30期	6,965,689	6,010,229	8,628	50	0.5
第31期	6,997,128	5,958,052	8,515	50	0.5

計 算 期	元 本 額	純資産総額	基準価額	1 万口当たり分配金	
				金 額	分 配 率
第32期	3,666,136円	3,178,070円	8,669円	50円	0.5%
第33期	3,679,900	3,242,770	8,812	50	0.5
第34期	3,693,493	3,303,961	8,945	50	0.5
第35期	3,718,723	3,309,498	8,900	50	0.5
第36期	3,742,699	3,287,841	8,785	50	0.5
第37期	3,757,173	3,185,199	8,478	50	0.5
第38期	3,794,615	3,100,125	8,170	50	0.5
第39期	3,804,259	3,078,019	8,091	50	0.5
第40期	3,931,627	3,231,356	8,219	50	0.5
第41期	3,953,868	3,108,454	7,862	50	0.5
第42期	3,976,400	3,072,667	7,727	50	0.5
第43期	4,012,783	3,023,235	7,534	50	0.5
第44期	4,048,927	3,206,311	7,919	50	0.5
第45期	4,084,147	3,283,661	8,040	50	0.5
第46期	4,180,528	3,401,285	8,136	50	0.5
第47期	4,203,226	3,442,750	8,191	50	0.5
第48期	3,965,300	3,295,406	8,311	50	0.5
第49期	3,945,871	3,309,987	8,388	50	0.5
第50期	3,932,050	3,294,966	8,380	50	0.5
第51期	2,903,788	2,439,834	8,402	50	0.5

○分配金のお知らせ

	第48期	第49期	第50期	第51期
1万口当たり分配金（税込み）	50円	50円	50円	50円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

○償還金のお知らせ

1万口当たり償還金（税込み）	8,403円43銭
----------------	-----------

◆償還金は償還日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆課税上の取り扱い

- ・個人受益者の場合、償還価額から取得費（申込手数料（税込）を含みます。）を控除した利益（譲渡益）が譲渡所得等として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率による申告分離課税が適用されます。
- ・特定口座（源泉徴収選択口座）を利用する場合、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収され、原則として、申告は不要です。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

【お知らせ】

- ①2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。
- ②受益権の口数が投資信託約款に定められた口数を下回っており、投資信託契約を解約することが受益者にとって有利であると認められるため、繰上償還しました。
(2016年10月25日)

<参考> 投資する投資信託証券およびその概要

ファンド名	ピムコ バミューダ エマージング マーケット ハイ イールド コーポレート ボンド ファ ンド A - クラス J (JPY)	マネー・マーケット・マザーファンド
運用方針	ピムコ バミューダ エマージング マーケット ハイ イールド コーポレート ボンド ファ ンド (M) への投資を通じて、米ドル建ての新興 国のハイイールド債券およびその派生商品等 に実質的な投資を行い、信託財産の成長をめざし ます。	わが国の短期公社債等を中心に投資し、利子等 収益の確保を図ります。なお、市況動向および 資金動向等により、上記のような運用が行えな い場合があります。
主要運用対象	米ドル建ての新興国のハイイールド債券およ びその派生商品等	わが国の公社債等
主な組入制限	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通常、ファンドの80%以上を米ドル建ての新 興国のハイイールド債券に投資します。 ・ 一部、国債等にも投資を行う場合があります。 ・ 投資する公社債は原則として取得時におい てCCC格相当以上の格付けを取得してい るものに限ります。 ・ 投資する公社債の平均格付けは、ポートフォ リオ全体で原則としてB-格相当以上に維 持します。 ・ ポートフォリオの平均デュレーションは、原 則として0～8年の範囲で調整します。 ・ 同一の発行体が発行する銘柄への投資比率 は、純資産総額の5%以内とします(国債や 政府機関債等を除きます)。 ・ 投資する公社債は、主に新興経済国の企業が 発行する米ドル建てのハイイールド債券で すが、同様の投資効果を持つデリバティブ取 引を活用する場合があります。また、資金管 理目的で、原則として取得時にBBB格相当 以上の格付けを有する米ドル建ての公社債 等にも一部投資を行います。 ・ 限定的な範囲で米ドル建て以外の公社債等 にも投資を行う場合がありますが、この場 合においては米ドル以外の通貨売り、米ドル買 いの為替取引を行います。 ・ 保有外貨建て資産に対し、原則として、米ド ル売り、円買いの為替ヘッジを行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外貨建資産への投資は行いません。 ・ 有価証券先物取引等を行うことができます。 ・ スワップ取引は効率的な運用に資するため 行うことができます。 ・ 金利先渡取引は効率的な運用に資するため 行うことができます。
決算日	毎年6月30日	原則として毎年5月および11月の20日
分配方針	原則として毎月経費控除後の利子収益および 売買益より分配を行う方針です。ただし、適正 な分配水準を維持するために必要と認められ る場合は、分配原資をこれらに限定しません。 なお、分配原資が少額の場合は、分配を行わ ないことがあります。	信託財産から生じる利益は、信託終了時まで信 託財産中に留保し、分配を行いません。

(1) 運用計算書

**(A) ピムコ バミューダ エマージング マーケット ハイ イールド コーポレート ボンド
ファンド A - クラス J (JPY)**

信託終了日現在、投資対象ファンドを保有していないため、掲載しておりません。

(B) マネー・マーケット・マザーファンド

25頁の損益の状況をご参照ください。

(2) 純資産変動計算書

**ピムコ バミューダ エマージング マーケット ハイ イールド コーポレート ボンド
ファンド A - クラス J (JPY)**

信託終了日現在、投資対象ファンドを保有していないため、掲載しておりません。

(3) 投資有価証券明細表

**(A) ピムコ バミューダ エマージング マーケット ハイ イールド コーポレート ボンド
ファンド A - クラス J (JPY)**

信託終了日現在、投資対象ファンドを保有していないため、掲載しておりません。

**(B) ピムコ バミューダ エマージング マーケット ハイ イールド コーポレート ボンド
ファンド (M)**

信託終了日現在、投資対象ファンドを保有していないため、掲載しておりません。

(C) マネー・マーケット・マザーファンド

23頁の組入資産の明細をご参照ください。

マネー・マーケット・マザーファンド

《第23期》決算日2016年5月20日

[計算期間：2015年11月21日～2016年5月20日]

「マネー・マーケット・マザーファンド」は、5月20日に第23期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第23期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	わが国の短期公社債等を中心に投資し、利子等収益の確保を図ります。なお、市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。
主要運用対象	わが国の公社債等を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資は行いません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	騰落率	債組入比率	債券先物比率	純資産総額
19期(2014年5月20日)	10,180	0.0	84.7	—	2,716
20期(2014年11月20日)	10,183	0.0	84.3	—	2,373
21期(2015年5月20日)	10,183	0.0	89.3	—	1,959
22期(2015年11月20日)	10,185	0.0	91.2	—	27,834
23期(2016年5月20日)	10,183	△0.0	39.0	—	5,562

(注) 当ファンドは主として短期債券、コール・ローンなどによる運用を行い、安定的な収益の確保をめざすファンドであり、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	債組入比率	債券先物比率	債券率
(期首) 2015年11月20日	10,185	—	91.2	—	—
11月末	10,184	△0.0	59.9	—	—
12月末	10,183	△0.0	93.0	—	—
2016年1月末	10,183	△0.0	98.5	—	—
2月末	10,183	△0.0	50.5	—	—
3月末	10,182	△0.0	68.5	—	—
4月末	10,183	△0.0	67.0	—	—
(期末) 2016年5月20日	10,183	△0.0	39.0	—	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

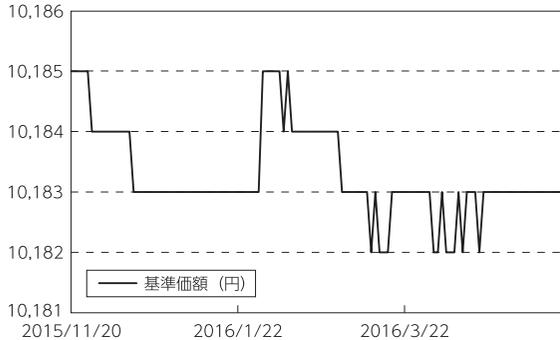
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ0.02%の下落となりました。

基準価額の推移



●投資環境について

◎国内短期金融市場

- ・当期の短期金融市場を見ると、日銀はマネタリーベースを操作目標として金融市場調節を行いました。2016年1月末に日銀は「マイナス金利付き量的・質的金融緩和」の導入を決定し、日銀当座預金のうち政策金利残高に適用する金利を-0.1%としました。コール・レート(無担保・翌日物)は、当該金利にさや寄せする形でプラス圏から段階的に低下し、5月20日のコール・レートは-0.053%となりました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・コール・ローン等短期金融商品を活用しつつ、残存期間の短い国債や社債などを組み入れ、利子等収益の確保を図りました。その結果、利子等収益は獲得したものの、組入債券の一部が小幅に下落したことなどから基準価額は下落しました。

○今後の運用方針

◎運用環境の見通し

- ・国内景気は緩やかな回復局面に向かうものと思われませんが、デフレ脱却に向けて日銀は「マイナス金利付き量的・質的金融緩和策」を当面維持することが見込まれます。そうした環境下、短期金利は低位での推移になるものと予想しています。

◎今後の運用方針

- ・運用の基本方針および前述の見通しに基づき、短期金融商品を活用しつつ、残存期間の短い社債などに投資し安定した収益の確保をめざしていく方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2015年11月21日～2016年5月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (そ の 他)	円 0 (0)	% 0.000 (0.000)	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	0	0.000	
期中の平均基準価額は、10,183円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2015年11月21日～2016年5月20日)

公社債

		買 付 額	売 付 額
国 内	国債証券	千円 3,120,795	千円 20,330,370 (7,992,600)
	特殊債券	601,257	— (200,000)
	社債券	1,586,979	—

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注) 社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

その他有価証券

		買 付 額	売 付 額
国 内	コマーシャル・ペーパー	千円 68,999,961	千円 65,999,968

(注) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2015年11月21日～2016年5月20日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D C
公社債	百万円 4,809	百万円 —	% —	百万円 19,830	百万円 1,999	% 10.1

(注) 公社債には現先などによるものを含みません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJモルガン・スタンレー証券です。

○組入資産の明細

(2016年5月20日現在)

国内公社債

(A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末						
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	183,750	183,838	3.3	—	—	—	3.3
金融債券	400,000 (400,000)	400,320 (400,320)	7.2 (7.2)	— (—)	— (—)	— (—)	7.2 (7.2)
普通社債券	1,577,900 (1,577,900)	1,584,386 (1,584,386)	28.5 (28.5)	— (—)	— (—)	— (—)	28.5 (28.5)
合 計	2,161,650 (1,977,900)	2,168,544 (1,984,706)	39.0 (35.7)	— (—)	— (—)	— (—)	39.0 (35.7)

(注) ()内は非上場債で内書き。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) 現先の組み入れがある場合、現先は国債証券に含めて記載。

(B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	当 期		末		償還年月日
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	比 率	
国債証券	%	千円	千円		
第342回利付国債(2年)	0.1	100,000	100,037		2016/7/15
第343回利付国債(2年)	0.1	83,750	83,801		2016/8/15
小 計		183,750	183,838		
金融債券					
い第735号商工債券	0.4	300,000	300,312		2016/8/26
い第732号農林債券	0.6	100,000	100,008		2016/5/27
小 計		400,000	400,320		
普通社債券					
第490回関西電力	0.718	100,000	100,049		2016/6/20
第355回中国電力	1.52	200,000	200,774		2016/8/25
第300回北陸電力	0.5	177,900	178,362		2016/11/30
第459回東北電力	0.869	200,000	201,192		2017/2/24
第282回四国電力	0.35	200,000	200,320		2016/12/22
第3回コニカミノルタホールディングス	0.61	200,000	200,640		2016/12/2
第17回ニコン	1.65	100,000	100,139		2016/6/23
第3回興銀リース	0.267	100,000	100,135		2016/12/2
第113回オリックス	2.19	100,000	101,906		2017/4/18
第156回オリックス	1.14	100,000	100,705		2017/1/27
第17回電源開発	2.07	100,000	100,164		2016/6/20
小 計		1,577,900	1,584,386		
合 計		2,161,650	2,168,544		

国内その他有価証券

区 分	当 期		末	
	評 価 額	比 率	評 価 額	比 率
コマーシャル・ペーパー	千円 2,999,995	% 53.9		

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

○投資信託財産の構成

(2016年5月20日現在)

項 目	当 期		末	
	評 価 額	比 率	評 価 額	比 率
公社債	千円 2,168,544	% 39.0		
その他有価証券	2,999,995	53.9		
コール・ローン等、その他	394,603	7.1		
投資信託財産総額	5,563,142	100.0		

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2016年5月20日現在)

項目	当期末
(A) 資産	5,563,142,682
コール・ローン等	389,098,836
公社債(評価額)	2,168,544,627
その他有価証券(評価額)	2,999,995,107
未収利息	3,637,299
前払費用	1,866,813
(B) 負債	672,118
未払解約金	670,530
未払利息	633
その他未払費用	955
(C) 純資産総額(A-B)	5,562,470,564
元本	5,462,308,836
次期繰越損益金	100,161,728
(D) 受益権総口数	5,462,308,836口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,183円

<注記事項>

- ①期首元本額 27,329,169,583円
 期中追加設定元本額 1,544,863,883円
 期中一部解約元本額 23,411,724,630円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0183円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

三菱UFJ DC金利連動アロケーション型バランスファンド	249,380,519円
三菱UFJ 新興国通貨建て債券ファンド(毎月決算型)	5,226,135円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<円コース>(毎月分配型)	8,898,354円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース>(毎月分配型)	1,628,029円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<ユーロコース>(毎月分配型)	101,543円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>(毎月分配型)	47,179,877円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	94,134,350円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<南アフリカランドコース>(毎月分配型)	233,263円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース>(毎月分配型)	4,757,576円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>	334,011,007円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<中国元コース>(毎月分配型)	89,620円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<インドネシアルピアコース>(毎月分配型)	1,033,322円
ブラデスコ ブラジル成長株オープン・マネーボール・ファンド	2,017,042円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース>(毎月分配型)	212,322円
PIMCO ニューワールド円インカムファンド(毎月分配型)	42,384,248円
PIMCO ニューワールド米ドルインカムファンド(毎月分配型)	3,558,532円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース>(毎月分配型)	23,960,741円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	457,302円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<円コース>(毎月分配型)	358,088円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>(毎月分配型)	2,100,667円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	3,836,590円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース>(毎月分配型)	383,682円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>	6,363,253円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<円コース>(毎月分配型)	13,745,897円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース>(毎月分配型)	3,037,917円

○損益の状況 (2015年11月21日~2016年5月20日)

項目	当期
(A) 配当等収益	4,329,010
受取利息	4,361,071
支払利息	△ 32,061
(B) 有価証券売買損益	△ 5,334,236
売買益	191,600
売買損	△ 5,525,836
(C) 保管費用等	△ 955
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 1,006,181
(E) 前期繰越損益金	504,860,995
(F) 追加信託差損益金	28,297,685
(G) 解約差損益金	△431,990,771
(H) 計(D+E+F+G)	100,161,728
次期繰越損益金(H)	100,161,728

- (注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

三菱UF J	新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)	1,970,066円
三菱UF J	新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (毎月分配型)	43,682,881円
三菱UF J	新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース> (毎月分配型)	217,654円
三菱UF J	新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<アジアバスケット通貨コース> (毎月分配型)	407,171円
三菱UF J	新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<マネーベースファンド>	24,781,723円
三菱UF J	欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)	2,221,253円
三菱UF J	欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<ユーロコース> (毎月分配型)	945,824円
三菱UF J	欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)	2,576,702円
三菱UF J	欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (毎月分配型)	3,148,614円
三菱UF J	欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース> (毎月分配型)	67,305円
三菱UF J	欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<マネーベースファンド>	3,491,872円
三菱UF J	欧州ハイイールド債券ファンド ユーロ円プレミアム (毎月分配型)	47,026,508円
欧州ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジあり)		1,285,463円
欧州ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジなし)		1,147,224円
新興国ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジあり)		1,068円
新興国ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジなし)		10,884円
三菱UF J	米国リートファンドA<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	491,836円
三菱UF J	米国リートファンドB<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	98,368円
PIMCO	ニューワールドインカムファンド<メキシコペソコース> (毎月分配型)	20,181,510円
PIMCO	ニューワールド円インカムファンド (年2回分配型)	109,209円
PIMCO	ニューワールド米ドルインカムファンド (年2回分配型)	158,381円
PIMCO	ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース> (年2回分配型)	20,660円
PIMCO	ニューワールドインカムファンド<ブラジルリアルコース> (年2回分配型)	40,278円
PIMCO	ニューワールドインカムファンド<メキシコペソコース> (年2回分配型)	955,887円
三菱UF J	新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (毎月分配型)	1,559,264円
三菱UF J	新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)	442,974円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン	通貨選択シリーズ<米ドルコース> (毎月分配型)	19,658円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン	通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (毎月分配型)	19,658円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン	通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)	19,658円
三菱UF J	米国高配当株式プラス<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	491,449円
三菱UF J	米国高配当株式プラス<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	9,828,976円
PIMCO	ニューワールドインカムファンド<世界通貨分散コース> (毎月分配型)	19,255,183円
PIMCO	ニューワールドインカムファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	554,804円
バリュール・ボンド・ファンド<為替リスク軽減型> (毎月決算型)		1,936,118円
バリュール・ボンド・ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)		9,829円
バリュール・ボンド・ファンド<為替リスク軽減型> (年1回決算型)		9,829円
バリュール・ボンド・ファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型)		9,829円
三菱UF J	米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)	9,834,580円
三菱UF J	米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (毎月分配型)	20,551,717円
三菱UF J	米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)	3,730,759円
三菱UF J	米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (毎月分配型)	5,059,469円
三菱UF J	米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (毎月分配型)	2,347,787円
三菱UF J	米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)	163,666円
三菱UF J	米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ロシアルーブルコース> (毎月分配型)	3,908,079円
三菱UF J	米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (年2回分配型)	3,737,703円
三菱UF J	米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (年2回分配型)	6,435,081円
三菱UF J	米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (年2回分配型)	686,803円
三菱UF J	米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (年2回分配型)	627,788円
三菱UF J	米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (年2回分配型)	608,110円
三菱UF J	米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (年2回分配型)	46,726円
三菱UF J	米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ロシアルーブルコース> (年2回分配型)	581,687円
三菱UF J	米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<マネーベースファンドA>	978,045円
三菱UF J	米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<マネーベースファンドB>	979,977円
三菱UF J	/ビムコ トータル・リターン・ファンド<米ドルヘッジ型> (毎月決算型)	1,423,307円

三菱UF J / ビムコ トータル・リターン・ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	8, 859, 081円
三菱UF J / ビムコ トータル・リターン・ファンド<米ドルヘッジ型> (年1回決算型)	1, 168, 184円
三菱UF J / ビムコ トータル・リターン・ファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	2, 065, 331円
ビムコ・エマーゼィング・ボンド・オープン C コース (為替ヘッジなし) (年1回決算型)	983円
ビムコ・エマーゼィング・ボンド・オープン D コース (為替ヘッジあり) (年1回決算型)	983円
三菱UF J / UBS グローバル好利回りCBファンド2013-11 (円ヘッジ) (限定追加型)	982, 608円
三菱UF J / ビムコ トータル・リターン・ファンド2014	256, 356円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジあり> (毎月分配型)	2, 827, 156円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジなし> (毎月分配型)	9, 387, 547円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	3, 545, 187円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	8, 124, 755円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり> (年1回決算型)	2, 990, 177円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	3, 377, 211円
PIMCO インカム戦略ファンド<円インカム> (毎月分配型)	357, 495円
PIMCO インカム戦略ファンド<円インカム> (年2回分配型)	168, 922円
PIMCO インカム戦略ファンド<米ドルインカム> (毎月分配型)	3, 874, 252円
PIMCO インカム戦略ファンド<米ドルインカム> (年2回分配型)	6, 588, 018円
PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース> (毎月分配型)	9, 991, 470円
PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	1, 616, 484円
三菱UF J / AMP オーストラリア・ハイインカム債券ファンド 豪ドル円プレミアム (毎月決算型)	25, 537, 767円
三菱UF J 米国バンクローンファンド 米ドル円プレミアム (毎月分配型)	42, 906, 470円
三菱UF J 米国バンクローンファンド 米ドル円プレミアム (年2回分配型)	8, 585, 548円
N a v i o インド債券ファンド	885, 566円
N a v i o マネーボールファンド	1, 561, 630円
三菱UF J インド債券オープン (毎月決算型)	39, 351円
バンクローンファンドUSA (為替ヘッジあり) 2014-08	11, 276, 260円
マネーボールファンド (FOF s 用) (適格機関投資家限定)	9, 898, 381円
MUAMトピックスリスクコントロール (5%) インデックスファンド (FOF s 用) (適格機関投資家限定)	8, 107, 178円
ビムコ・エマーゼィング・ボンド・オープン A コース (為替ヘッジなし)	10, 766, 608円
ビムコ・エマーゼィング・ボンド・オープン B コース (為替ヘッジあり)	21, 620, 196円
三菱UF J バランス・イノベーション (債券重視型)	365, 273, 064円
三菱UF J / AMP オーストラリアREITファンド<Wプレミアム> (毎月決算型)	11, 293, 333円
三菱UF J Jリート不動産株ファンド<Wプレミアム> (毎月決算型)	6, 324, 266円
三菱UF J Jリート不動産株ファンド<米ドル投資型> (3ヵ月決算型)	3, 063, 931円
PIMCO 米国バンクローンファンド<米ドルインカム> (毎月分配型)	1, 375, 824円
PIMCO 米国バンクローンファンド<米ドルインカム> (年2回分配型)	1, 071, 396円
マルチストラテジー・ファンド (ラップ向け)	491, 015円
PIMCO 米国バンクローンファンド<世界通貨分散コース> (毎月分配型)	918, 198円
PIMCO 米国バンクローンファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	138, 468円
PIMCO 米国バンクローンファンド<円インカム> (年2回分配型)	10, 804円
PIMCO 米国バンクローンファンド<円インカム> (毎月分配型)	10, 804円
三菱UF J 債券バランスファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	983円
三菱UF J 債券バランスファンド<為替リスク軽減型> (年1回決算型)	983円
三菱UF J 債券バランスファンド<為替リスク軽減型> (毎月決算型)	983円
三菱UF J 債券バランスファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	983円
三菱UF J バランス・イノベーション (株式抑制型)	3, 276, 286, 700円
三菱UF J DCバランス・イノベーション (KAKUSHIN)	42, 678, 508円
MUAMトピックスリスクコントロール (10%) インデックスファンド (FOF s 用) (適格機関投資家限定)	255, 538, 832円
三菱UF J グローバル好利回りCBファンド2013-09 (円ヘッジ) (限定追加型)	196, 405, 776円
合計	5, 462, 308, 836円

【お 知 ら せ】

信用リスクを適正に管理する方法を新たに定めるため（分散型に分類）、信用リスク集中回避のための投資制限の追加およびこれに伴う投資制限の記載の変更を行うための、所要の約款変更を行いました。

(2016年3月16日)